

えっ！丸善が撤退？！

「お店がなくなってしまうのは困ります」

「丸善さんがなくなったら、ほんとうに困ります。とりわけ車に乗れないお年寄りなどは、ぜひ残して欲しいと願っています。」…このほど町民の方からの訴えで、丸善Kモール店が8月20日で撤退することが分かり、存続を求める署名運動を呼びかけることになりました。第1次集約を6月末とし、7月末をめどに署名を呼びかけることにします。署名の文案は次の通りです。

マルゼンの存続(代替え小売店の継承)を 求める請願署名

丸善Kモールの存在は甲良町民にとってはもちろん、周辺住民にとっても、なくてはならない日常生活の買い物を満たしてくれる大切な存在です。高齢者や車に乗れない住民にとっては大変ありがたいお店です。

ところが、その丸善さんが8月20日をもって撤退すると聞きました。甲良町では、平成初めから「にぎわいの街・せせらぎタウンアイム」との呼び名で、町あげでの「せせらぎ遊園のまち・甲良」の町づくりとして取り組んで来た経緯があり、町は「存続・継続」の指導的役割を果たしてほしいと考えます。

現在の高齢者はもちろん、数年先を考えても、近くで買い物ができる環境を整えておくことは大変重要ではないでしょうか。撤退すれば、「買い物難民」が増え、町の灯も消えたようになってしまいます。

以上のことから、丸善Kモール店の存続・あるいは他の事業体に替わっても存続できるよう全力を尽くして頂きますよう切にお願いいたします。

甲良町長 野瀬喜久男 様

請願代表者 ()

私も上記趣旨に賛同します。

《 以下署名欄 》

お元気ですか 生存権がかかった選挙

コロナで、困りごとはありませんか？ 1人10万円は届きましたか？ まだ申し込んでおられない方はありませんか？ ▼町の報告によれば、18日現在、対象人数に対して97.6%の方に支払い済とのこと。一方、54世帯84人が未申請だと言います。西澤は、この定額給付の制度自体知らない方、封を開けない方もおられるなどの事情を踏まえ、申請を促す防災無線のアナウンス、チラシなど丁寧な働きかけを担当者に電話で要請しました(19日)。

▼18日、東京都知事選挙が始まりました。日本共産党は宇都宮健児さんを支援して勝利をめざします。コロナ危機の下で経済効率最優先の新自由主義に基づく政治、社会のあり方が問われています。非正規雇用を増大させ、医療・福祉分野を削減、民営化してきた社会が、感染症という危機に、いかに弱いかということを露呈しました。

14日付 「んぶん赤旗」インタビュー)と宇都宮さんはズバリ。この指摘は東京都政だけではなく、日本の社会・経済政治のあり方が問われているのだと思います。▼臓器売れ！などと脅して取り立てるサラ金業者に抗し、高金利を防ぐ法改正にも最も献身的に奮闘した弁護士でもあります。この選挙は都民の生存権がかかった選挙」と心の底から訴えておられます。

1人10万円(定額給付金)執行状況

(6月18日現在・町担当課発表)

区分	世帯	%	人数	%
給付対象	2,612	—	6,869	—
支払い済	2,521	96.5	6,702	97.6
受付済	20	—	42	—
審査済	17	—	41	—
審査中	0	—	0	—
未申請	54	—	84	—

※審査済は 6/23 振込予定



国会閉じて逃げる気 倉田 新

甲良民報

2020年6月21日 793号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士 373 (西澤)
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】